

# 農村RMO・つなぐ鍋山安らぎの里づくり事業導入 「一人でも良い!!喜んでくれる人たちのために」



農村RMO地方フォーラム(6年10月25日)  
躍動と安らぎの里づくり鍋山 会長 秦 美幸  
事局長 菅澤邦次

# ◇1. 「人口」 (令和6年(2024)8月現在)

① 世帯数	381戸
② 地区内の人口	1,225人
・1世帯平均居住数	3,21人
・男性 565人(46,1%)・女性	660人(53,9%)
③ 65歳以上の人口と高齢化率	589人(48%)
④ 要支援者登録者数	50人
⑤ 鍋山小学校の児童数	48人
・2002年度	103人

## 令和35年(2053)の推定

①地区内の人口	480人
②高齢化率	310人(65%)
③世帯数(1世帯3人居住と仮定)	160戸

## 2. 位置

「躍動鍋山事務局（鍋山交流センター）」の位置



## ◇ 3. 躍動鍋山の事業

(1) 事業推進 : 4 本柱

(2) 主要事業 : 22 事業

- 設立からこれまでの主な継続事業

(3) 新たな挑戦 : 9 事業

- 平成29年度から取組んだ新たな事業
- 見えてきた課題解決と事業のレベルアップ



# 1. 山林地籍調査事業導入対策と推進態勢強化事業 (21. 11. 9 より : 令和5年度で事業完了)

里坊地区1工区推進委員会  
H.26, 9月

里坊1工区:境界確認作業中  
H.26. 10月



	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4
殿河内①	←→												
殿河内②		←→											
殿河内③			←→										
里坊①					←→								
里坊②						←→							
根波①					←→								
根波②						←→							
根波③							←→						
乙加宮①										←→			
乙加宮②											←→		
乙加宮③												←→	
乙加宮④							←→						
乙加宮⑤								←→					
乙加宮⑥									←→				
坂本①								←→					
坂本②									←→				
坂本③										←→			5

## 2. まめなか君の水道検針事業（24年4月より）

### 1) 水道検針業務受託契約

- ・平成24年4月 検針口数 509口（420世帯）  
委託料 832,560円
- ・令和 6年4月 検針口数 515口（391世帯）  
委託料 1,011,504円

### 2) 検針員（職員：令和5年度） 14人

- ・報酬（平成24年4月～） 1時間 750円
- （平成25年4月～） 800円
- （平成26年 4月～） 850円
- （令和 4年10月～） 860円
- （令和 5年10月～） 905円
- （令和 6年 4月～） 970円 ⇒ 労協うんなんが受託

### 3) 声掛け対象

- ・要支援者（当初：平成24年） 39名
- ・（令和6年5月現在） 52名



## 2. まめなか君の水道検針事業 「まめなかね～？」

～ 住民の健康・安心を守ります！～



- ・地域住民への見守り・声かけ～要支援者リストにない方でも、水道検針員が今まで巡回した中で心配な方(高齢者など)へ声かけ訪問を実施
- ・地域環境への気づき(道路、土地、地水 など) →気づいたときに県・市に連絡





### 3. 安心生活応援隊事業 (24. 12. 1より)

\*「雪かき応援隊事業」として開始 ・ 24. 12. 1

\*「安心生活応援隊事業」として衣替え ・ 27, 4, 1

#### ① 受託作業内容 (一部紹介) (料金は作業ごとに設定)

- ・除雪作業 ・草刈り ・立木、竹伐採 ・農作業(軽)
- ・大工、左官 ・空き家等の片付け ・墓掃除 ・剪定作業
- ・話し相手 ・買い物、病院への送迎付添い ・障子張替え
- ・その他の軽作業

#### ② 作業従事者 (躍動鍋山の職員 : 24名)

- ・作業賃金は職員報酬として支払 (1時間:905円)

#### ③ 職員の労働安全講習会の実施

# 3

## 3. 安心生活応援隊事業(雪かき応援隊) (24. 12. 1より)

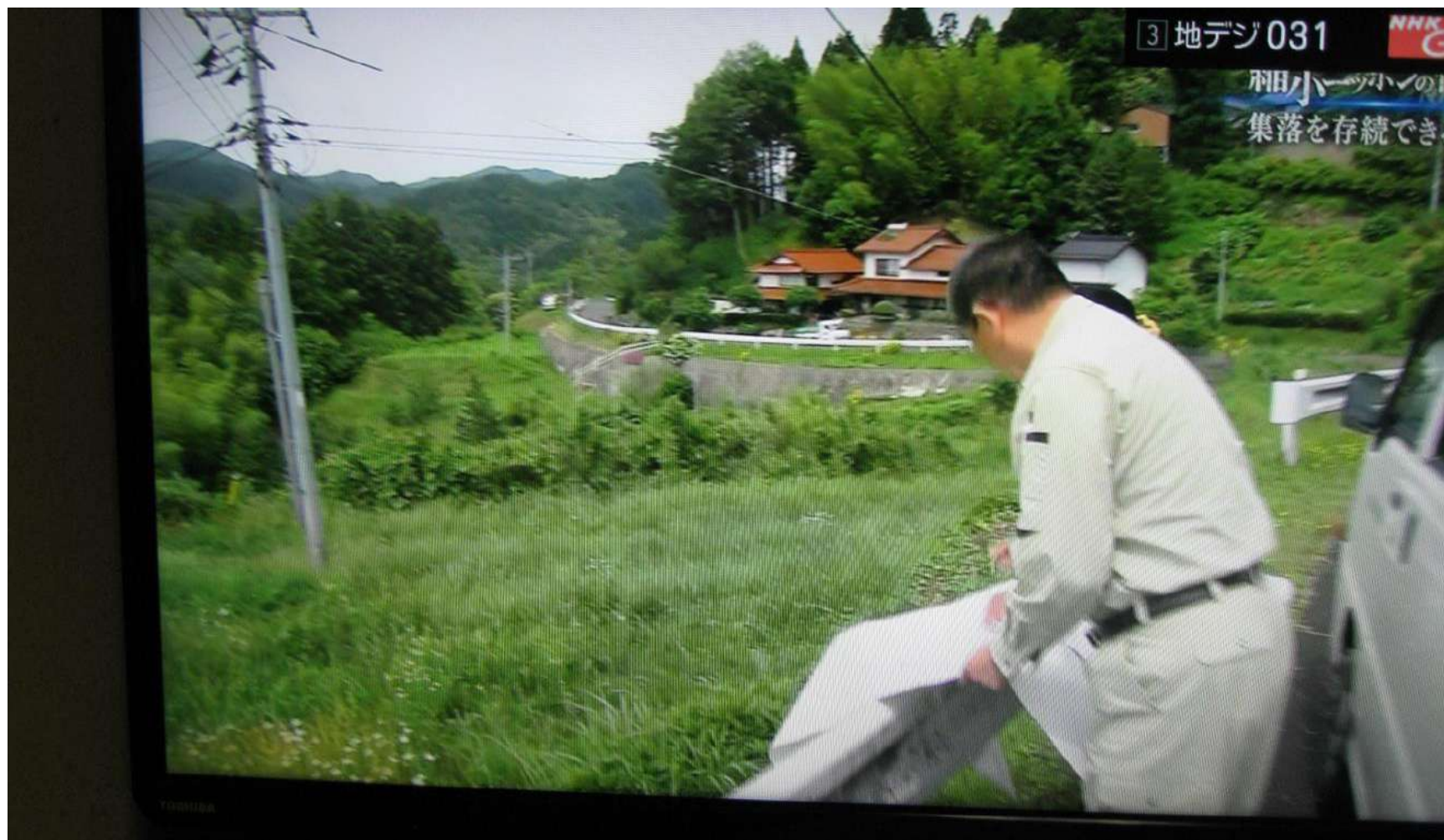




#### 4. 鍋山地区内実態調査事業 (28. 8. 1 より)

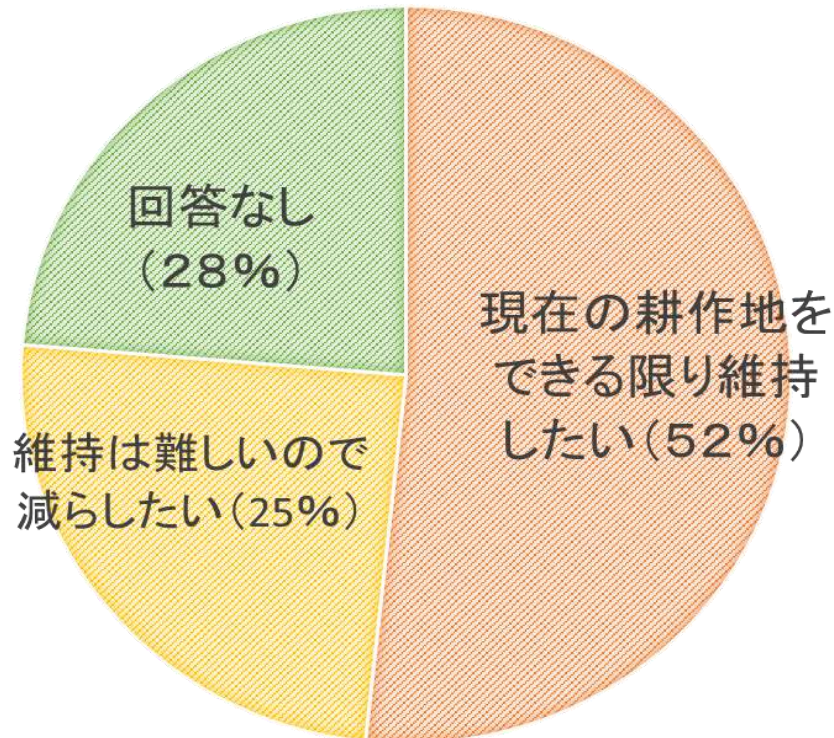
(我が家の将来・地域の将来 : 全戸アンケート)

(集落ごとの農地現況調査 : 11支部で実施)



28年8月実施のアンケート結果  
(415世帯 回答数325:79%)

**今後の農地利用について**

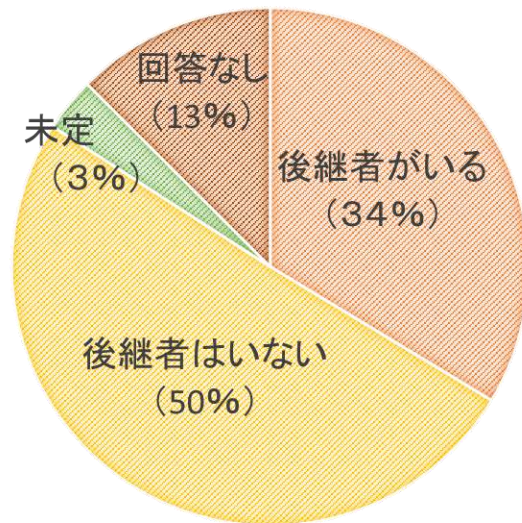




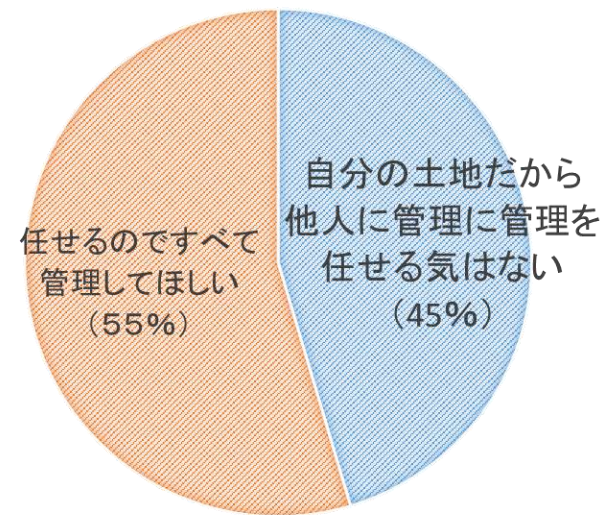
# アンケート結果

(415世帯 回答数325)

## 農地等（土地）の後継者



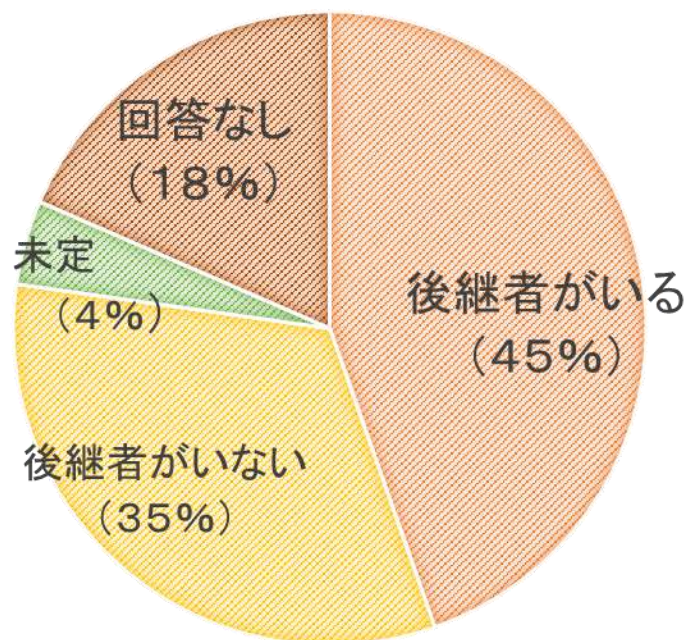
## 土地の管理



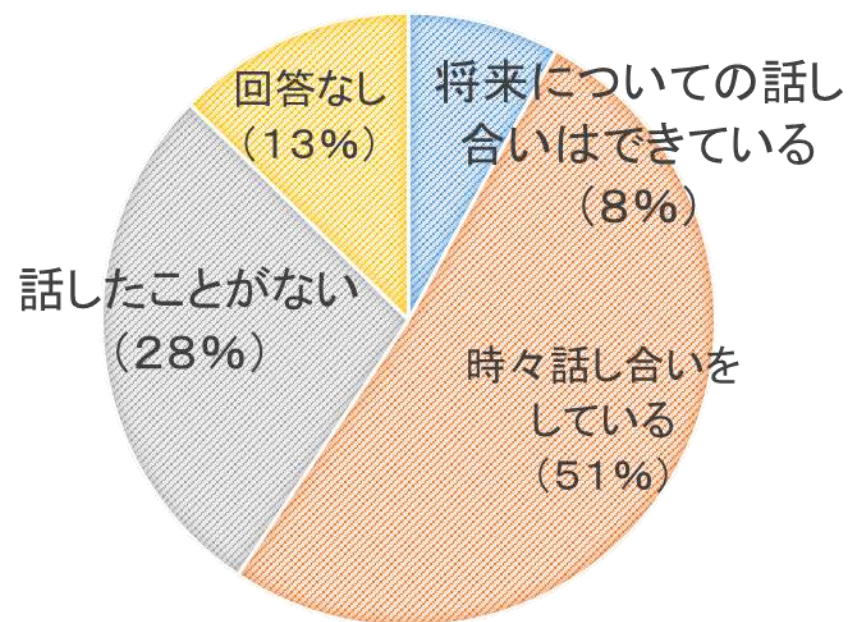
# アンケート結果

(415世帯 回答数325)

## 自宅等（住居）の後継者



## 家族間での話し合い



## ◇(4) 新たな挑戦

### 1. 「躍動鍋山ささえあい事業」

総務省事業（29年度単年度事業）

「(雲南市における)

過疎地域等集落ネットワーク圏

形成支援事業」

事業申請交付金額：12,644,000円

# (1) 安らぎ広場開設 (概要図)



健康/生活/交通/  
買い物/防災 など



鍋山交流センター

躍動鍋山  
**安らぎ広場**  
コミュニティナース  
の配置

趣味の  
集い

うたごえ教室  
ヨガ教室  
健康教室  
木工・折り紙教室など



安心生活  
応援隊

雪かき  
草刈り、庭木の剪定  
障子はり  
生活支援 など



見守り支援  
ネットワーク

ちよんてご(看護師チーム)  
水道検針まめなか君  
キッズ携帯まもる君  
民生児童委員  
自治会福祉委員

つぶやき  
拾い

若者グループ  
女性部・若妻会  
支部サロン  
高齢者クラブ  
PTA・消防団 など

・区内イベント企画  
・子育て環境  
・通園・通学環境  
・交通の確保  
・防災・防犯 ...など  
→ 躍動鍋山の活動に反映

解決困難事案  
相談・連携

政策企画部  
健康福祉部  
医療介護連携室





## (2) チーム「ちょんてご」 誕生

(ちょんぼし = 少し・てごする = 手伝う)

### 1. 鍋山地区内でチームに加入してほしい対象者

- ・ 退職された看護師 8名
- ・ 現役の看護師 14名

### 2. 現在の「チーム ちょんてご」 メンバー

- ・ 退職された看護師 4名
- ・ 現役の看護師 5名

### 3. 携帯品

- ・ 聴診器
- ・ 血圧測定計
- ・ パルスオキシメーター  
(経皮的動脈血酸素飽和度計測器)





## 4. 新たな挑戦

### 2. 「旧・JA鍋山支所管理運営事業」(30年度)

- ① 安らぎ広場活用啓発推進事業  
(島根県公民館協議会補助事業を導入)
  - ・健康長寿推進対策・高齢者の交流場所
  - ・ちよんてごカフェの会場など
  
- ② 貸部屋事業による経費補填対策
  - ・民間会社:雲南営業所との賃貸契約
  
- ③ 「躍動鍋山 粟原分室」として活用
  - ・安心生活応援隊事業の拠点
  
- ④ 労協うんなん事務所として活用





躍動と安らぎの里づくり鍋山  
栗原分室

お気軽にどうぞ!!  
**安らぎ広場**

高齢者生活支援センター 高齢者の暮らしを支える生活支援センター  
つばさ生活館 安心生活支援センター

平塚市障害者福祉センター 障害者と安らぎの里づくり  
平塚市障害者福祉センター 高齢者の暮らしを支える生活支援センター

平塚市障害者福祉センター 障害者と安らぎの里づくり  
平塚市障害者福祉センター 高齢者の暮らしを支える生活支援センター

## 4. 新たな挑戦

### 3. 最期まで暮らせる鍋山を目指して（令和2年度）

（雲南市の協働で叶える市民活動促進補助事業を導入）

- ① 住民の移動を支援する事業
- ② 清楚な葬儀の提案事業
  - ・躍動鍋山で祭壇を所有
  - ・葬儀場は交流センターで
- ③ 終活ガイド資格を（秦会長：3, 9, 9）







## ② 清楚な葬儀の提案事業

躍動鍋山で祭壇を所有・葬儀場は交流センターで



③ 終活ガイド資格認定証を 秦会長取得  
(3年9月9日)



## 4. 新たな挑戦

### 4. 鍋山地区集落連携協議会設立（令和2年度）

\* 農水省：新たな地域農業の創造事業導入

- ・地区内の農業2団体と  
躍動鍋山が協定締結
- ・農業課題と地区内課題解決に  
3組織が連携



# 鍋山地区集落連携協議会設立調印式

(令和2, 10, 6)



# 『中山間地域等直接支払交付金 (加算措置)事業』の取組み

## 鍋山地区における「加算金交付」基準

(1) 協定組織	10 地区
(2) 交付金対象農地面積	917,400 m <sup>2</sup>
(3) 交付金決定額	5,669,600 円
▪ 集落協定広域加算	2,000,000円
▪ 生産性向上加算	1,834,800円
▪ 集落機能強化加算	1,834,800円



## 4. 新たな挑戦

### 5. 「ふかたに荘」指定管理事業(令和3年度) 有効活用で高齢者の健康増進に繋げる





## 水車小屋も人気の一つです





## 4. 新たな挑戦

# 「深谷温泉への出荷と地域の見守り事業」

## 毎週開催する「日曜日」への

## 野菜・加工品等の集荷業務等に対応





# 鍋山小学校3年生総合学習で来館 深谷温泉の源泉を見る





## 6. 住民の移動を支援する事業

事業名：走れ！！よりそい号

(交通空白地 自家用有償旅客運送事業)

### 事業内容

- ・運送車両 自家用軽自動車 2台
- ・運送の区域 鍋山地区内に限定  
事務局を起点に最長距離 5キロ
- ・旅客の範囲 鍋山地区に在住する市民  
65歳以上で運転ができないかた
- ・運転者 交通空白地有償運送運転者認定  
講習を修了したもの 現在 7名
- ・対価の額 一乗車 300円

### 3. 新たな挑戦

#### 休眠預金等活用助成事業の導入

\* 助成額 : 3年間 : 800万円  
(令和4年4月1日事業着手)

- ・よりそい号の事業推進体制の整備
- ・よりそい号の運行管理・車両管理等整備
- ・事業推進専任職員の雇用 など





## (4) 「新たな挑戦」

### 7. 元気な鍋山：躍動サロン設立事業 (令和4年7月事業着手)

- ・地域共生社会創造助成金事業の導入
  - \* 助成額 : 1年間 : 100万円
- ・新たな「サロンの設立」と活動開始：躍動サロン
- ・10集落の「サロン活動の支援」
- ・サロン活動備品・ゲーム器具・格納庫等の整備
  - ・男性参加者の増加を目指す工夫を

# 第1回躍動サロンの開設を説明 (令和4年11月16日)





# 第2回躍動サロン: 用具使用を体験 (令和4年12月12日)





## 4. 新たな挑戦

### 8. 鍋山RMO「つなぐ鍋山：安らぎの里づくり」事業

(令和5年度事業着手)

農用地保全・地域資源活用・生活支援組織等の形成を図る

(令和5年度：年間最高1,000万円：3年間事業)

### 中山間地域の農用地の保全と 農村型地域運営組織（農村RMO）の形成について



令和4年3月10日

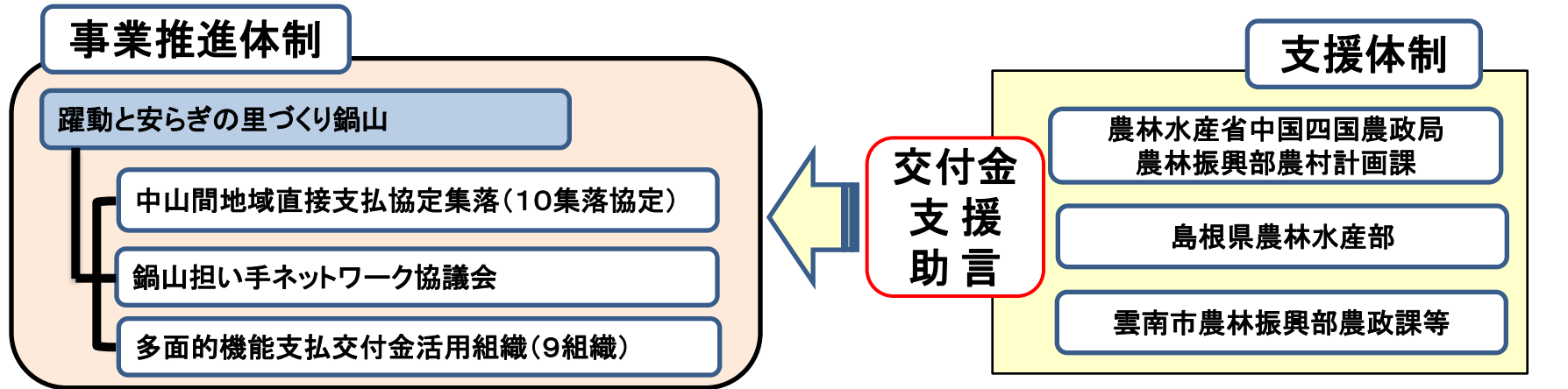
農村振興局農村政策部

**MAFF**

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

農林水産省

# つなぐ鍋山:安らぎの里づくり事業推進体制



躍動鍋山RMOビジョン策定

事務局体制の整備

先進事例の視察・調査・研究

課題解決に向けた取組

## ① 鍋山地区における持続的な農村景観維持→農用地保全

- 農地プラン策定
- 安心生活応援隊の体制強化と作業の支援活動
- 鳥獣害対応策の検討・モデル地区での検証
- 地籍調査結果に基づき境界域での鳥獣害対応策の検討・検証 等

## ② 鍋山地区における雇用創出・所得向上→地域資源活用

- 農産物集荷拠点・農産物加工設備の整備
- 定年婦農者や女性、高齢者向けの野菜作り研修会・商品づくり研修会
- 産直への農産物の集出荷活動 等

## ③ 鍋山地区における生活基盤の維持→生活支援

- 高齢者宅の声掛け・見守り活動
- 安心生活応援隊による高齢者宅の草刈り、雪かき等支援活動
- 高齢者の移動支援活動
- 貸農園、ミニハウスの設置や利活用の検討 等

## 「つなぐ鍋山：安らぎの里づくり」の取り組み

### 【地域の現状と課題】

- 少子高齢化、若い世代の他地区への移住  
⇒ 高齢化率や高齢者独居世帯の増加
- 農業者の高齢化、後継者不在や担い手不足  
⇒ 農業・農村環境の継続的な維持が困難
- 令和3年の豪雨災害、鳥獣被害  
⇒ 生産意欲の低下、耕作放棄地の増加
- 交通空白で買い物や病院への移動方法が限定  
⇒ 交流の機会減少、閉じこもりがちな生活



# 将来のビジョン      ～その1～

## 【農用地保全】

### ◎農地プランの作成

⇒ 圃場毎に目指すべき将来の農用地の利用の姿を明確化

### ◎躍動鍋山による作業支援体制の整備、拡充

⇒ 高齢化等により農用地の草刈り作業が困難な方への支援

### ◎鳥獣害対策の充実

⇒ 緩衝帯設置、ICT等の新技術も考慮

# 将来のビジョン ～その2～

## 【地域資源活用】

- ◎地域で生産された野菜等の集出荷体制と拠点の整備  
⇒ 地元の深谷温泉での朝市、スーパー等への継続的な出荷
- ◎新たな生産者の育成、販売スキル等の向上  
⇒ 定年帰農者等への研修会、販売促進へのノウハウ習得
- ◎売上げの向上  
⇒ 通年生産、特産品の生産
- ◎地区内に加工所を設置  
⇒ 地元の施設(旧幼稚園、旧給食センターなど)の利活用により共有可能な加工所設備を整備し、加工品製造・販売許可を得る

# 将来のビジョン

# ～その3～

## 【生活支援】

◎高年齢者独居世帯への声掛け、見守りを強化

⇒ 産直市への野菜等の集荷時に声掛けを行い、安心な生活を支援

◎生活支援体制を強化

⇒ 自宅周辺の草刈り、雪かき等が困難な高齢者世帯等への作業実施により安心・安全な生活を支援

◎集いの場、生きがいづくり

⇒ 貸農園やミニハウス設置、共同生産作業による集いの場の提供と生きがいづくり  
移動は高齢者移動支援事業で対応



## 1. 地区計画の策定（更新）

- ①既存の計画書をベースに最新版に改定を行う。
- ②スケジュールは、令和5年9月末までに素案を、年内に初版を作成し、令和6年2月～3月に鍋山地区住民の皆様への説明会を実施予定。

### 【主な内容】

- ・地域の課題
- ・課題への取り組み
  - みんなで安心プロジェクト
  - みんなでいきいきプロジェクト
  - 無理しない地域づくりプロジェクト
- ・災害に備えて ほか



## 2. アクションプランの策定（農用地保全、地域資源活用、生活支援）

申請時の計画書および以降の検討結果等を整理し、具体的実施計画としてまとめ、令和5年9月以降に逐次地区説明会を開催し、順次実証に入る。  
なお、事前に実証が可能なものは順次着手する。



### 3. (農業) 地域計画・農地プランの作成

「将来、地域の農地を誰が利用し、農地をどうまとめていくか」、「農地を含め、地域農業をどのように維持・発展していくか」など、地域農業のあり方を協議（将来の目標地図を含む）し、地域計画を策定する。

市、農業委員、農業者などを中心に、令和5年8月頃から着手し、令和7年3月末完了予定で策定作業を進められる。

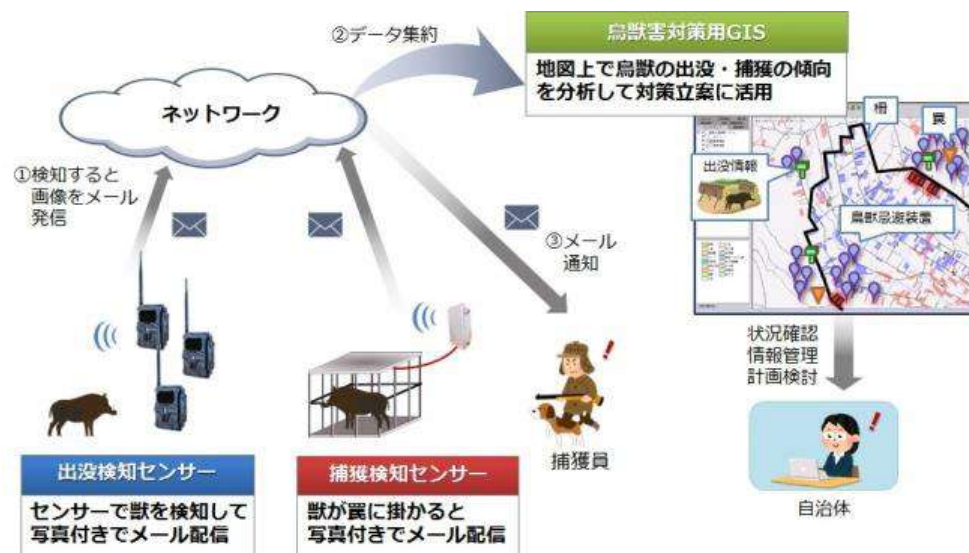




## 4. 鳥獣害対策（1）

- ①電気牧柵、ワイヤメッシュなどによる防護柵について、より効果的な設置方法、現状の農用地の被害状況等からみた効果的な対策など、専門家からの指導を受ける。
- ②「うなんんケモナビ」ソフト（飯石地区で導入・実証中）の利用について検討する。
- ③情報通信技術（ICT）を活用した鳥獣害対策の検討および実証を行う。

※「うなんんケモナビ」ソフトとは  
猪やサルなどの目撃や被害情報、捕獲  
情報などをスマホなどで登録し、随時  
地図上で見える化することにより、被  
害防止策の検討などに活用が可能。



## 4. 鳥獣害対策（2）

- ④緩衝地帯の設置について、設置方法や効果、実証場所等について検討を進める。

緩衝地帯は農地と林地を跨ぐことから、林地の整備も必要となる。

林地の場合は、手入れに手間がかかることから、休耕田への設置を行う。  
(緩衝地帯と薬草の栽培を兼ねることも考慮)

➡ モデル地区の選定



## 4. 鳥獣害対策（3）

⑤竹林の繁殖への対応として、竹を伐採し竹炭化またはチップ化させ、田または畑の土壌改良材として活用をはかる。

- ➡ 竹炭化するための燃焼機器は雲南市で保有されている。  
(炭を地中に埋めることでCO<sub>2</sub>削減、保水性・保肥性が改善)
- ➡ チップ化するための機器は業者からのリースが可能。





## 竹粉碎機の実証



農地等への竹林侵入対策や、チップ化した竹を活用した農用地の土壌改良への対応として、竹チップ機による実証を鍋山地区2か所(里坊、殿河内)で行いました。

竹チップ機の借入先の方から、操作や使用上の注意点の説明を受け、実際に竹をチップ化してみました。

実証には26名の方が参加され、みなさんより『この機械は是非ほしい』とのご意見がありました。

引き続き、他地区でも同様の実証を行うとともに、チップ化した竹の土壌改良の効果なども検証していきたいと思えます。

## 5. 休耕田等の利活用（1）

### ① 薬草の植栽

薬草（どくだみ、よもぎなど）を休耕田（湿地、日陰）で栽培し、お茶の原料として加工所へ出荷する。時期に応じた植物を栽培し出荷する。

➡ 生または乾燥した状態で加工所へ出荷することが可能。

ただし、一定の量を出荷する必要がある（お茶に加工する場合は、乾燥した状態で最低4kg必要、生の状態だと10倍程度は必要）ことから、本格的な栽培は令和6年度以降になる。

現在、どくだみ、赤しそを収穫し、加工所へ持ち込みと製品化の試行中5年度は試行的に収穫、出荷、加工（業者）を実証する。



## 5. 休耕田等の利活用（2）

### ②本草の植栽

#### ➡ 本草（古代出雲風土記に記載の薬草）

・ ・ クズ、ハトムギ、マコモ、ウメ、アカマツ、ムラサキなど

（薬草）

・ ・ どくだみ、よもぎ、こはこべ、しょうがなど

休耕田等への植栽については、他県でも課題を抱えておられることから、別途、専門家からのアドバイスを受けながら実証する。

#### ➡ 地域の観光資源である深谷温泉と連動し、

- ・ 本草湯や本草茶の提供
- ・ 関連商品の販売
- ・ 料理教室やお茶づくりワークショップなどのイベント
- ・ 本草園への観光などにより、集客につなげる。





## 5. 休耕田等の利活用（3）

③ハス、マコモの植栽に向けた準備（水利が確保できる休耕田を検討中）

➡ ハスの栽培には深さ60cm程度（泥40cm、水20cm程度）の池が必要

➡ マコモは湿地帯での栽培



## 5. 休耕田等の利活用（4）

### ④クロモジ、山椒などの植栽

➡ クロモジやサカキなど、島根県中山間研究センター（飯南町）で栽培方法の指導や苗の斡旋などを行われており、専門家からの支援を受けながら実証に取り組む。

➡ 山椒は、鍋山地区内で（里坊および坂本地区）で栽培されており、現在、収穫量の拡大に取り組まれている。



## 5. 休耕田等の利活用（5）

⑤本草や薬草の生産から収穫、加工、販売までの一連の方針や手順について、専門家（このはなプラン、出雲ハーブなど）より提案を受ける。

➡ 全国的にも有名となっている本草・薬草事業の先進地である、三重県にある「VISION(ヴィソン)」、高知県の「牧野植物園」などへの視察も検討する。





## 6. 旧鍋山幼稚園（事業拠点）の整備、活用

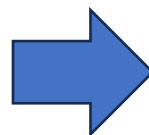
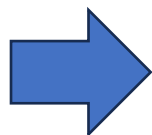
周辺の草刈り・片付け、玄関・室内（床、ガラスなど）の清掃、事務室等の整理、野菜等の保冷库設備の電源工事などを行い、本事業の事務所および野菜等の集出荷場所として使用可能な『事業拠点』として施設の整備を行った。



## 7. 野菜等の集出荷基盤の整備

事業拠点の玄関内に、組み立て式（プレハブ）冷蔵庫（1坪の大きさ、ホシザキ製）を7月13日に設置。

以降、生産者が夕方に集荷された野菜などを保存され、翌朝産直ショップ等の出荷に利用されている。



## 8. 野菜等の集出荷体制の整備

マックスバリュ等への集出荷にかかる業務を躍動鍋山で受託する。  
業務内容は配送だけでなく、

- ・ 売れ筋商品や販売価格帯などの市場調査と生産者への情報提供
- ・ 集荷作業時の高齢者への声掛けを行う
- ・ 買い物弱者への買い物代行支援などについても検討し実証する。





スーパー: マックスバリュウ今市店・塩治店

鍋山産: すぐそこ育ちコーナへの出荷事業

「高齢者の生きがいづくりと見回り・声掛け」事業

年間・365日の営業体制(出荷)に

躍動鍋山で搬送等に対応



## 9. 出荷量拡大への対策

野菜は作っているが、市場等への出荷作業（袋詰めやシール貼りなど）は困難な方もおられることから、専任の作業員確保や作業場として事業拠点を利用するなどにより、出荷生産者および出荷量の拡大をはかる。

野菜の集荷方法、作業員の確保や作業にかかる経費との採算性などを含め実証を行う。



## 10. 特産品の開発（基本は既存資源の活用と負担軽減を考慮）

①「葉草」、「山椒」の出荷

②地域資源を活用した特産品の産出（例\_\_笹巻作りと委託販売）

➡ 地元産の米、笹を活用した笹巻作り、販売については、郵便局とタイアップした「ゆうパック」の利用で、販売作業の負担軽減を図る。

ただし、加工品販売による衛生管理対策が必要となる。5年度での対応は時期的に遅いことから、次年度での対応に向けた準備を行う。





## 1.1. 各種研修会の実施（1）

### ①売れる商品づくり研修

農産物や加工品を産直ショップ等に出荷する際に、消費者から興味や魅力を感じて頂けるような袋詰めの方法、また、ポップの作成など専門家からの指導を受けながら、販売高アップにつなげる。

➡ 奥出雲産直振興大会（11月21日～22日、徳島県）への参加について検討



## 1 1. 各種研修会の実施（2）

### ②安全作業研修

草刈り、雪かき等の作業を行う上で、自身や周囲の方に怪我や迷惑をかけないように安全な作業を行うために、必要となる作業上の注意事項などを研修により習得する。



## 1 2. 安心生活応援隊員の体制強化

現在25名の体制だが、平日での対応が困難な方も多いことから、今後の作業受託状況などを見ながら体制強化について検討する。

体制強化をはかる場合は、まずは鍋山地区内での対応とし、地区外からの対応についてはその状況をみながら考慮する。

あわせて作業にかかる刈払機や自走式刈払機（ハンマー型など）、リモコン式刈払機の実証なども検討する。





### 13. 貸農園、共同作業農園の開設

親子での農業体験などによる交流人口の増加、定年退職者やU Iターン者などの新たな農業者への支援、また、高齢者の集いの場作りとして、貸農園や共同作業農園の開設などを実証してみる。（できれば平坦地で交通の便が良い）

➡ 先行事例では、水の確保（年中利用可能な状態がベスト）、排水設備、駐車場の確保、野菜作りの相談などに対応できる管理人の設置、管理機等の機械の貸し出し、防除（草刈り）や盗難対策などを課題とされている。



pixta.jp - 5523053



## 1 4. 農村RMO活用先進事例にかかる視察研修等

本事業の有効活用に向けた検討および検証をすすめるなかで、目的や参加者を整理したうえで、先行地視察も考慮する。

また、県内でRMO事業に取り組んでおられる、他の5組織等との情報交換会などにより、効果的な事業運営を図っていく。

※ 5 組織（令和5年9月時点）

佐田地域づくり協議会（出雲市）

久利・大屋地区小さな拠点推進協議会（大田市）

池田集落協定運営委員会（大田市）

出羽地区運営協議会（邑南町）

和田地区まちづくり推進委員会（浜田市）

## 15. 実証、活動で使用する備品等の購入（リース利用を含む）

- ①事業広報用の横断幕、縦看板の作成
- ②野外活動および研修等で使用するワイヤレスメガホン一式
- ③その他（野菜等の冷蔵庫、刈払機など）





## ◇5. 躍動鍋山の予算(決算)

収入決算状況(抜粋)

地域活動を行う財源は

## 2. 躍動鍋山の予算

(2) 令和元年度収入決算合計額	20,073,000円
① 交付金・社協助成金事業会計	9,338,000円
・雲南市交付金	9,030,000円
・社協助成金等	353,000円
② 躍動鍋山自主事業会計	10,690,000円
・会費、負担金、諸収入等会計	2,311,882円
(躍動鍋山・消防団後援・小学校後援会費、参加者負担金 視察料、寄付金、繰越金、繰入金等)	
・補助金、助成金、受託料等会計	1,279,250円
(社協事業・放課後教室・子育て支援・公民館事業等)	
・収益事業会計	6,672,880円
(センター指定管理、印刷料、水道検針、切手販売、安心生活応援隊 備品貸出、ドリンク販売、分室管理事業等)	

## 2. 躍動鍋山の予算

(4) 令和5年度収入決算合計額	41,374,319円
① 交付金・社協助成金事業会計	9,371,000円
・雲南市交付金	9,018,000円
・社協助成金等	353,000円
② 躍動鍋山自主事業会計	32,003,319円
・会費、負担金、諸収入等会計	2,637,098円
(躍動鍋山・消防団後援・小学校後援会費、参加者負担金 視察料、寄付金、繰越金、繰入金等)	
・補助金、助成金、受託料等会計	13,301,309円
(社協事業、放課後教室、子育て支援、農村RMO事業、休眠預金等)	
・収益事業会計	16,064,912円
(センター指定管理、印刷料、水道検針、切手販売、安心生活応援隊 備品貸出、ドリンク販売、分室管理、温泉事業、よりそい号事業等)	



## 2. 躍動鍋山の予算

(4) 令和6年度収入予算合計額	27,238,832円
① 交付金・社協助成金事業会計	9,868,000円
・雲南市交付金	9,515,000円
・社協助成金等	353,000円
② 躍動鍋山自主事業会計	17,370,832円
・会費、負担金、諸収入等会計	2,033,500円
(躍動鍋山・消防団後援・小学校後援会費、参加者負担金 視察料、寄付金、繰越金、繰入金等)	
・補助金、助成金、受託料等会計	9,757,332円
(社協事業、放課後教室、子育て支援、農村RMO事業、休眠預金等)	
・収益事業会計	5,580,000円
(センター指定管理、印刷料、分室管理、よりそい号事業等)	

# 9. 労働者協同組合うんなん





### 3. 新たな挑戦

## 9. 「労働者協同組合うんなん」の設立

#### 1. 目的

急速に進む少子高齢化社会において

「協同組合うんなん」の設立は

多様な就労機会の創出と

地域における多様な需要に応じた事業を促進することで

持続可能で活力ある地域社会の実現を目指す。



### 3. 新たな挑戦

#### 9. 「労働者協同組合うんなん」の設立

##### ◆ 設立の意義と期待すること

##### ☆ 生涯現役社会の実現

- ・ 人生100年時代
- ・ 地域が直面する課題解決に取り組む
- ・ 退職後も生きがいをもって地域社会に参加

##### ☆ 高齢期の就労・社会参加に向けた意識改革

- ・ 定年退職予定者への意識見直し、キャリアの再構築

### 3. 新たな挑戦

#### 9. 「労働者協同組合うんなん」の設立

##### ◆ 設立の意義と期待すること

☆ 就労・社会参加へのきっかけづくり

・退職前は地域との結びつきが希薄であり、退職後に

地域貢献する価値を見出す機会の提供

☆ 企業人から地域人として、高齢者は地域の支え手へ

・元気な高齢者の居場所と出番の創出

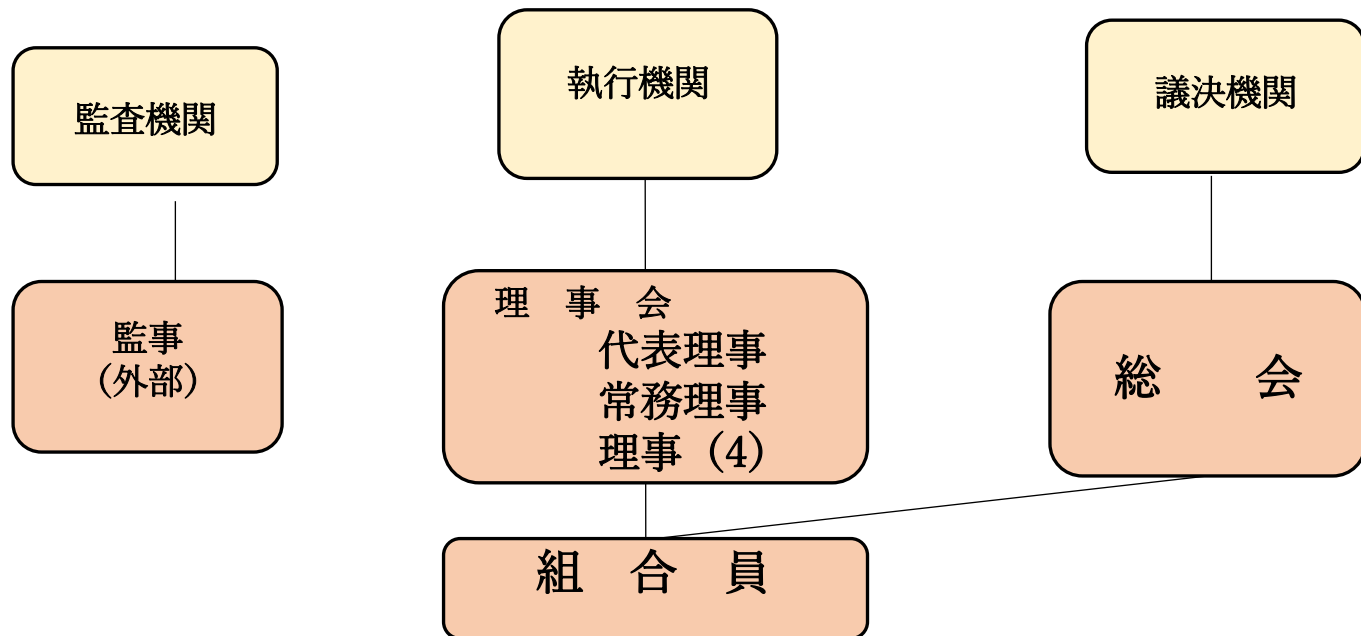
・地域で人手不足とされる生活支援等の確保が急務

・短時間勤務等の柔軟な勤務形態が必要

# 労働者協同組合うんなん 設立

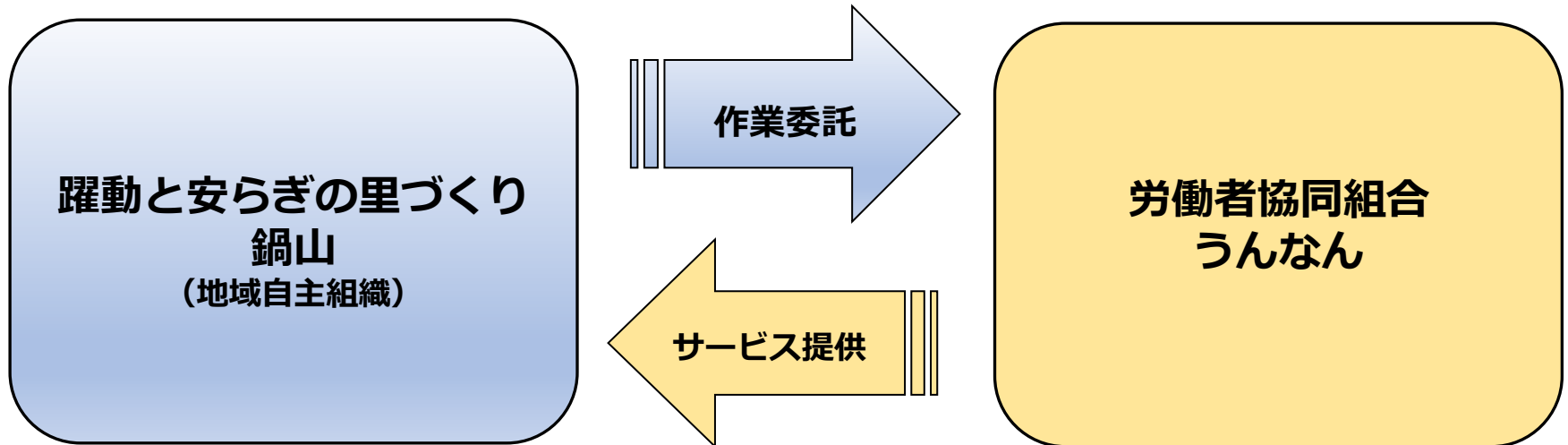
1. 設立総会 令和6年2月1日 (設立登記) 2月5日 : 法人登記
2. 組合員 27名 (設立時) (現在) 6月23日 : 36名
3. 役員
  - ・代表理事 1人
  - ・常務理事 1人
  - ・理事 4人
  - ・監事 1人
4. 出資金
  - ・一口 5,000円
  - ・現在 83口 415,000円

## 5. 組織図



## 躍動鍋山との連携

地区内の諸課題については、従来通り躍動鍋山が主体的に取り組み、主に実作業面について、「労働者協同組合うんなん」が受託し、相互に連携と機能分担をはかりながら、より効果的、効率的な事業運営をはかっていきます。





# 事業内容 (第2回通常総会で定款改訂)

- 1 温泉等の施設管理・運営事業
- 2 地域の困りごとサポート事業
- 3 農業団体・組織からの業務受託事業
- 4 地域自主組織からの業務受託事業
- 5 自治体からの業務受託事業
- 6 住民移動支援事業
- 7 水道検針事業
- 8 児童の見守り事業
- 9 清楚な葬祭事業
- 10 終活支援事業

## 事業内容（赤字分：を追加改訂）

- 11 農特産品の集出荷・加工・販売事業
- 12 農林水産にかかる作業受託、加工・販売事業
- 13 生活用品等の販売事業
- 14 事務処理代行事業
- 15 貨物自動車運送事業
- 16 家屋等の改修及び修繕事業
- 17 土木及び建設関連業務受託事業
- 18 古物及び中古物品等の回収及び売買事業
- 19 サービス事業及び関連業務の受託事業
- 20 その他第一条の目的を達成するために必要な事業

# 1 温泉等の施設管理・運営事業（雲南市からの指定管理）

～ 有効活用で高齢者の健康増進に繋げる ～

- ・ 小さな湯舟が良い ➡ 隠れた人気はここに
- ・ ふかたに荘で開催する「日曜日」への  
地元産の野菜・加工品等の集荷業務等に対応



## 2 地域の困りごととサポート事業

～ 高齢者宅や地域からの要望にお応えします ～

- ・ 除雪作業
- ・ 草刈り
- ・ 立木、竹伐採
- ・ 農作業（軽）
- ・ 剪定作業
- ・ 障子・網戸張替え
- ・ 大工、左官
- ・ 墓掃除
- ・ 雨どい補修
- ・ 車庫修繕 など





### 3 農業団体・組織からの業務受託事業

～ 躍動鍋山のつなぐ鍋山安らぎの里づくり（農林水産省：農村RMO）事業との連携

- ・農用地保全、地域資源活用、生活支援にかかる各実証の作業を支援



## 4 水道検針事業 (まめなかね～?) (市上下水道局から受託)

～ 住民の健康・安心を守ります！

～



- ・地域住民への見守り・声かけ ➡ や要支援者リストにない方でも、水道検針員が今まで

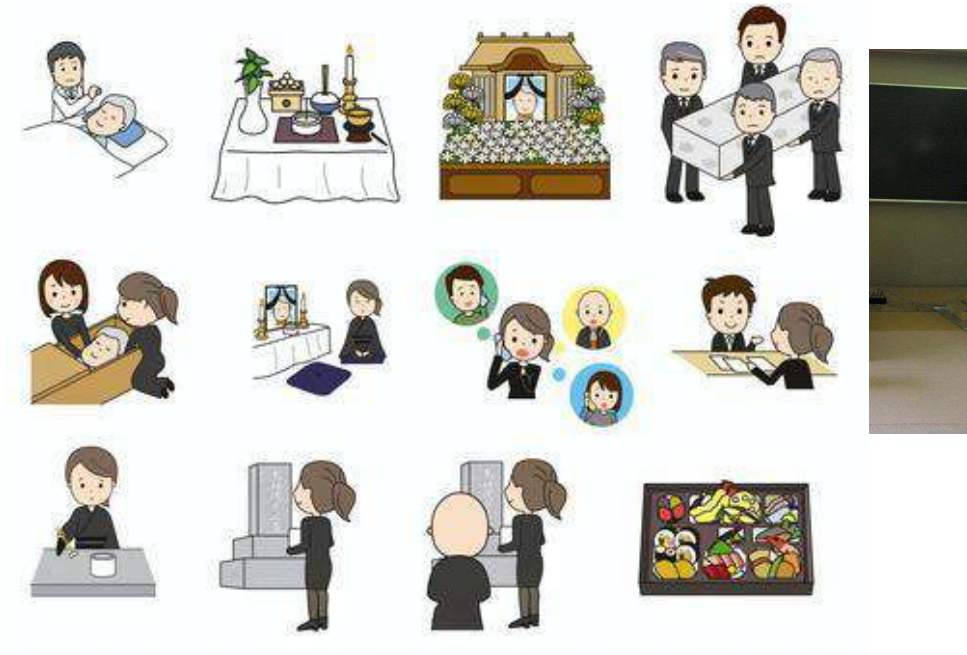
巡回した中で心配な方（高齢者など）へ声かけ訪問を実施

- ・地域環境への気づき（落石、土壌・地下水 など） ➡ 気づいたときに県・市に連絡



# 5 清楚な葬祭・終活支援事業

～ 躍動鍋山で祭壇を所有・葬儀場は交流センターで清楚な葬儀をサポート ～





## 6 農特産品の集出荷・加工・販売事業

～ 高齢者の生きがいづくりと見回り・声掛け ～

- ・ マックスバリュ出雲今市店 鍋山産：すぐそこ育ちコーナへの出荷
- ・ 週4日の集出荷（搬送、貨物運送事業）





## 7 現在交渉中の業務

- ・ 建設業者からの残土処分場の業務受託事業
- ・ 雨樋・瓦など家屋改修工事事業（板金業者等との連携）
- ・ 網戸交換など家屋修繕工事事業（地元の建具屋との連携）
- ・ 建設中のホテル業務受託事業（ビル管理会社との連携）
- ・ 放課後預かり業務支援事業（事業者への支援事業）

／無理をしない／

# 鍋山

## 安らぎの里を めざして

平成27年度～31年度 鍋山地区計画

躍動と安らぎの里づくり鍋山

